

# 令和2年白老町議会人口減少に対応する政策研究会会議録

令和2年11月11日（水曜日）

開 会 午前10時00分

閉 会 午前11時56分

---

## ○会議に付した事件

協議事項

1. データ研究「外国人労働について」
- 

## ○出席委員（8名）

座 長	大 淵 紀 夫 君	副 座 長	佐 藤 雄 大 君
委 員	西 田 祐 子 君	委 員	氏 家 裕 治 君
委 員	久 保 一 美 君	委 員	長 谷 川 か お り 君
委 員	貳 又 聖 規 君	委 員	森 哲 也 君

---

## ○欠席委員（なし）

---

## ○職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長	高 橋 裕 明 君
主 査	小 野 寺 修 男 君
主 任	村 上 さ や か 君

## 人口減少に対応する政策研究会（第9回）

### 【調査事項】

事務調査：人口減少に対応する政策研究「若者定住」について

#### 1. データ研究「外国人労働について」

- 佐藤副座長 フェイスブックのメッセージで、帰国後にどのような活躍があったかという問いがあった。
- 小野寺主査 フィードバックが来ていると聞いたことはない。
- 久保委員 外国人労働者による地域への関わり方がどのようにできるのか。永住権獲得の方法など分かれば十分かと思う。
- 貳又委員 ファンづくりを継続できるとよい。帰国後の追跡はできないが検討したほうがいいのか。
- 大淵座長 実態調査をするのかは、様子を見てからがよいのではないか。管理団体については少し慎重に調べたい。

#### 2. 協議事項

##### (1) 今後の研究会の進め方について

###### ①若者定住促進講演会の評価

- 大淵座長 10月28日（水）講演会の振り返りをする。委員から意見・感想を求む。
- 氏家委員 若者にプレッシャーをかけるつもりではないが、議会も行政も若者の力を信じて、覚悟を持って応援することが大事である。
- 久保委員 白老町の若者定住に向けて、若者が好きなことに取り組むために行政の後押しは何ができるか。町には自然、文化、温泉などの資源がある。既存の観光資源に少しずつ磨きをかけることが重要である。
- 西田委員 白老町にどれだけの若い人に住んでもらえるか。ウポポイはじめ、対応策が町として何もないのではないかという話があった。
- 貳又委員 行政の隙間を埋めるような具体的な提案があった。ウポポイで任期付きで働く人にどう定住してもらい、雇用の場の創出についても研究を掘り下げる提案だった。
- 長谷川委員 今回の研修会はいい準備段階になったのではないかと思う。今後、インフォメーションセンターのさらなる活性化や若者に注目してもらい、人々を呼び込める政策につながればと思った。
- 森委員 若者のチャレンジ支援という言葉が印象的であった。
- 佐藤副座長 足元を見て施策を打つ必要がある。移住フェアをするより今いる人を大事にしたい。応援するにはまちの人々の理解が必要である。
- 大淵委員 道の駅の検討に取り組めたらと思った。協力隊を含めて地酒をつくれたらよい。若者支援をはじめ、具体的なことに応援ができる機会をつくりたい。
- 高橋局長 実践者としての具体的な話がありよい機会であった。

###### ②アンケート調査の実施 資料2（企業承諾、実施時期、方法）

- 佐藤副座長 アンケートは年内に実施出来ればと思う。直接言ってあいさつしアンケートを渡したい。
- 大淵座長 アンケートはこの中身で実施する。アイヌ民族文化財団の今井専務はこの内容で了解しているか。
- 高橋局長 事前に今井専務に見てもらい、その上で通知する。ほかにも内諾をもらってから正式に依頼する流れである。その時に一緒にヒアリングするかどうか。

- 貳又委員 調査が先で訪問は後として検討している。
- 大淵座長 ほかの企業はどうするのか。どこに調査をするのか。
- 佐藤副座長 全部はきびしいのでしぼった方がよいと思っている。
- 長谷川委員 若手の人がいる事業所に実施したほうがよい。
- 久保委員 アンケートは外国人を対象にするのか。
- 大淵座長 外国人は対象ではない。アンケート班で具体案を決めて、次の政策研究会で提案してほしい。ウポポイは年内に実施する。

#### ③企業訪問活動（聞き取り調査）の準備

- 貳又委員 企業訪問活動について今井専務に伝えたところ、若い職員を別の場所に集め実施してはどうかとのことであった。
- 長谷川委員 ウポポイの窓口は今井専務であり、誰が何を言ったと職場で分かるとよくないので、業務外として行うことには構わないと言われた。
- 貳又委員 一度アンケートをしてから、さらに考えて訪問案をつくり込みして考えたい。
- 大淵座長 まずウポポイで実施してから、ほかの事業所へとするのはどうか。
- 貳又委員 ウポポイを集中的に実施して検証してから次へ進めていきたい。
- 高橋局長 一度実施して結果をみて、さらに知りたいことをまとめて第2弾へとつなげてはどうか。
- 大淵座長 若い人と話すのは簡単なことではない。アンケートからよく練る必要がある。
- 高橋局長 業務中や業務終了直後と今井専務は思っていたが、呼ばれる人とそうでない人がいるので、別の場所で集まると考えている。人選をお願いすることになる。最終的に懇談会開催も考えられる。
- 大淵座長 聞き取り調査の詳細はアンケート終了後に詰めることにする。切れ目なく進めていきたい。

#### ④地域おこし協力隊との意見交換会の開催（11月25日）資料3

- 大淵座長 地域おこし協力隊との意見交換会は第2会議室で長机1つに1人で考えている。意見交換会終了後の懇親会は中止でよいか。（一同：よろしい。）
- 西田委員 懇親会がなければ早い時間から開始できるか。協力隊の都合もあるとは思いますが、議会が今後の検討を考えられるように、2時間から3時間かけて話を聞けたらと思う。
- 大淵座長 民泊の人は昼間の参加ができるだろうか。
- 貳又委員 参加者によって空いている時間は異なる。現在隊員の人は日中でも大丈夫であろう。
- 大淵座長 意見交換会は13時30分から15時30分でどうか。
- 西田委員 現役隊員になるべく出席してもらいたい。